



こうさぎ4組 クラスだより 1月



2025年 1月31日
ひかりの子幼稚園

クラスで取り組んでいること

- *うがいをする
(外から帰った後はガラガラうがい
食後はブクブクうがいをできるようにする)
- *ジャンパーを着て遊ぶときは
危険のないようにボタンやチャックを
自分で閉める

今月の歌

あさいちばんに ラップがなったら
ひろばにあつまれ きょうはパレード
ドラムをたたけ シンバルならせ
みんなうたおう おおきなこえで

パパパパ パレード どどどど どこまでも
パパパパ パレード あしたはつづいてる

今月の聖句

「受けるよりは与える方が幸いである。」
(使徒言行録20:35)

今月の賛美歌

♪ ちいさいひつじが

- ちいさいひつじは いえをはなれ
あるひとおくへ あそびにいき
はなさくのはらの おもしろさに
かえるみちさえ わすれました
- とうとう やさしいひつじかいは
まいごのひつじを みつけました
だかれてかえる このひつじは
よろこばしさに おどりました

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
クリスマス会を終えて3学期が始まり、久々に会った子どもたちは、何だか少しお兄さんお姉さんの顔つきになったと感じるほどに、成長している場面が見られています✨
寒い日が続いていますが、こうさぎ4組、最後の学期もみんなで楽しい日々を作っていこうと思います♪
3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

コマ回し大会!

3学期が明けてすぐ、コマを作り始めました!
自分で好きな色を使い、絵を描いてオリジナルのコマ作り♪
多くの子がコマ回しを楽しんでいたの、コマ回し大会を行うことに✨
フラフープの中でコマを回して遊びました。最初はなかなか上手く回せず苦戦する子もいましたが、何度もチャレンジすることで、長く回せるようになる子も!
また、コマを逆さにして、キノコのように回す遊び方も教えると、コツを掴んだ子は非常に楽しんで盛り上がりました♪



風揚げ!

お正月遊びである凧を作りまし
た!
ハサミの連続切りや端を折ること、セロハンテープで留めること、絵を描くことなど、今までの取り組みを総合したものでしたが、一人一人楽しんで作ることができました。
翌日早速園庭で風揚げを行うことに♪
クルクルと回る凧に、子どもたちはとても喜んでいました✨
お家でもぜひ遊んで頂けたらと思っています♪



大根抜き!

大根抜きに行きました! 畑で育った大きな大根。子どもたちは一生懸命真上に引き抜くと、太くて重い大根に大喜び♪
季節の実りや神様に感謝できるきっかけとなったのであれば嬉しく思います。



氷になるかなあ?

①水を外に置いてみよう!

氷点下まで下がった日の前日、「明日はとても寒くなる」という話から、「外に水を置いておいたら氷になるかな?」と実験することになりました。小さいペットボトルに好きな分量の水を入れ、靴箱上に並べることに。
しかし、残念なことに翌朝になっても氷にはなっていませんでした……。ですが、こんな時のために事前に「もし凍らなかったらどうする?」と子どもたちに尋ねていました。すると、「冷蔵庫に入れたらいい」という声が上がりました。その発言が凄く面白かったので、「みんな、冷蔵庫と冷凍庫は違うって知ってる……?」と聞くと、頷いている子もいれば首を振る子も。ならばこの機会に、遊びから学びを広げて欲しい!と思い、「実は職員室に冷蔵庫があるから、冷蔵庫と冷凍庫、どちらに入れたら凍るのかやってみよう!」ということになりました。
事前に絵を描いて見せながら、「冷蔵庫は何が入っているところ?」「冷凍庫は何が入っているところ?」と聞くと、冷蔵庫は「ジュース!」「牛乳!」「ドーナツ!」と。冷凍庫は「アイス!」と発言してくれる姿がありました。

ここまで確認したら、ほぼ冷凍庫にみんな入れるのかなと思いきや、どちらか入れたい方にマグネットを置いてみて、とお願いすると、7割ほどが冷蔵庫を選択していました! 一人一人の発言を聞いてみると「僕はおっきいほうがいい」「アイスの方にする」など、何が入っているかわかりつつも、どちらがどんな機能があるかはまだ知らないようで、それより大きさでの判断や、中に自分の好きなものがあるかどうかで判断した様子でした。それもまた年少さんらしくて本当に可愛らしいなと微笑ましく見ていました。



②冷蔵庫に入れてみよう!

そして実際に冷蔵庫と冷凍庫にペットボトルを入れに行くことに! 「職員室は、先生たちがお仕事をされているから静かにね」と言うと、子どもたちはまるで忍者のよに静かに職員室に入る姿が見られました。そんな場面からも、本当に4月からの成長を感じ、嬉しい思いでいます。

さて、全員が冷蔵庫と冷凍庫、各々好きな方に入れた後は、凍っているかのチェック!

再びそろりそろりに入った職員室で、冷蔵庫チームさんが取り出したペットボトルは「冷たい!」と小声で言いながらも「凍ってないー!」と中の水を揺らしていました。一方冷凍庫チームさんは、しっかりカチコチに凍っています!
「ということは……どっちの方が凍るの?」と尋ねると「冷凍庫!」と子どもたちはしっかり答えてくれました。その後は全員氷を作りたいとの事だったため、皆で冷凍庫にペットボトルを入れることに♪

③早く溶けるのはどっちかな?

その後は、「お部屋とお外、どっちに置いた方が早く溶けるんだろう?」と私がふと子どもたちに聞かけると「外!」「お部屋!」と意見が分かれる結果になりました。そのため、外と室内とではどちらが早く溶けるか調べてみることに! またマグネットを用いて子どもたちに尋ねたところ、お部屋チームを選ぶ子が少し多めの印象でした。

そして実際に冷凍庫から取りに行くことに。取り出したペットボトルはしっかりと凍っていて、子どもたちは非常に喜んでいました♪ 戻った後は、お外チームは靴箱上へ、お部屋チームは室内の棚の上に置いてから給食準備開始!

いただきますの前に、氷の状態を確認すると「溶けてる!」と言ったのはやはりお部屋チームさんでした!
そんな時、一人の子が机に持ってきたペットボトルを触り「漏れてる!」と言ったのです。よく見ると、蓋はしっかりと閉まっているのですが、周りの水滴が集まって滴り落ちている状態でした。「それはね、結露って言うんだよ」

子どもたちにはまだ難しい話だと思いましたが、温度差の大きさによって、空気中の見えない水が出てくるという話を簡単にしました。今は完璧に理解できなかったとしても、いつか「あの時やったことだ!」と子どもたちの中で繋がる経験になれば嬉しいなと思っています。

そんな氷の溶けるスピード実験は、お部屋チームの方が早く溶けること、そしてそれは『今は外が寒くて、お部屋の方が暖かいから』という結論まで子どもたちと実際に試して学ぶことができました。

ただ「氷は冷凍庫で作られるんだよ」というように、話を聞いて知識を得ることは可能ですが、大人にとって当たり前のことでも、幼い子どもたちにとっては大発見に繋がるため、実際に試して経験することは、子どもたちにとってより大きな学びになるのではないかなと考えています。

ここから更に楽しい遊びからの発見や学びに繋げていきたいと思っていますので、また子どもたちにもお話を聞いて頂けたらと思います♪



1あたたかいおへやのほうはやくとけたよ!